

語ろう!! 高知の10代グループディスカッション



こうち子ども 未来フォーラム 2020



2つのディスカッションテーマ

将来の夢・未来の私

将来の夢はある? 「なりたい自分」になるためにはどうすればいい? 声に出すことで夢が叶う一歩になるかも! 未来についてみんなで考えよう!

アフターコロナの世界とどう向き合うか

新型コロナウイルス感染症により、夏休み返上で授業を行うなど学生生活にも影響が出ました。だからこそ、気づけたこともあるかも。その気づきをどう活かすことができるか、みんなで考えよう!



実施
報告書
2021年2月



高知県地域福祉部少子対策課

〒780-8570 高知市丸ノ内1丁目2番20号
TEL:088-823-9640 FAX:088-823-9658 E-mail:060501@ken.pref.kochi.lg.jp

高知県地域福祉部少子対策課



高知県子ども条例の概要 ♪♪

基

子どもは、次代の社会をになう大切な存在。
年齢や成熟度に応じ、成長できること。



本

子どもが、家庭や学校、地域社会の活動を通じ、
人間性や社会性を育むことができる環境をつくること。

理

子どもが、成長とともに高い規範意識や自尊心、
他者を思いやる心を身に付けることができる環境をつくること。

念

保護者や学校関係者等、地域社会や行政が
子どものために連携すること。



保護者の責務

家庭は子供の育つ基盤であり、保護者は子育てについて重要な役割を持ち、子どもを大切に育てる責務があります。また、子どもが高い規範意識を身に付け、自らの力を発揮して成長することができるよう、深い愛情を持って育てなければなりません。

学校関係者等の責務

学校関係者等は、子どもの安全を確保する必要があります。また、子どもが安心して、学びながら成長することができる教育環境づくりに努めなければなりません。



連携



県民の責務

県民は、大人の意識や行動が子どもに与える影響の大きさを自覚し、自らの規範意識を高める必要があります。また、子どもが健やかに成長することができる社会環境づくりに努めなければなりません。

行政の責務



県や市町村は互いに連携し、子どもが健やかに成長することができる環境づくりに関する施策を策定し、実施する責務があります。また、地域の住民が協力して行う取組を支援しなければなりません。

目次

INDEX

概要 02

講演

売上1億円突破！「高知かわうそ市場」
～しんじょう君店長が気づいた変化とは～
講師・守時 健さん 03

グループディスカッション

●A グループテーマ / 将来の夢、未来の私 04
●B グループテーマ / 将来の夢、未来の私 06
●C グループテーマ / 将来の夢、未来の私 08
●D グループテーマ / 将来の夢、未来の私 10
●E グループテーマ / アフターコロナの世界とどう向き合うか... 12
●F グループテーマ / アフターコロナの世界とどう向き合うか... 14
●G グループテーマ / アフターコロナの世界とどう向き合うか... 16
●H グループテーマ / アフターコロナの世界とどう向き合うか... 18

コラボ企画

しんじょう君景品ゲット 20

専門家講評 21

アンケート 22

※この条例において、「子ども」とは、18歳未満の者をいいます。

こうち子ども未来フォーラム 2020



日時 2020 **11/23** 月祝 13:00▶16:00

場所 ちより街テラス 3F ちよテラホール

オープニング・主催者挨拶

講師 守時健さん・しんじょう君

テーマ 売上1億円突破！
「高知かわうそ市場」
～しんじょう君店長が気づいた変化とは～

アイスブレイク 簡単なゲームや自己紹介でコミュニケーションを図って緊張をほぐそう！

グループディスカッション

テーマ1 将来の夢・未来の私
テーマ2 アフターコロナの世界とどう向き合うか

プレゼンテーション



講師 守時 健さん

大学時代に訪れた須崎市を気に入り、そのまま須崎市役所へ就職を決める。須崎市のマスコットキャラクター担当に自ら名乗りをあげ、その後「ゆるキャラ」と「ふるさと納税」を掛け合わせた事業で、市の納税額を10億円近くまで増やした。2020年2月市役所を退職し、(株)パンクチュアルを設立。

しんじょう君

須崎市の新荘川で、最後に目撃されたニホンカワウソ。残念ながら絶滅指定されてしまいましたが、しんじょう君は今日もカワウソの友達を探しに旅をしています。そして、この魅力いっぱいの須崎市のPRをしています。
◎誕生日:4月28日 ◎年齢:5才くらい
◎特技:ダンス、水泳 ◎趣味:おしゃれ、アニメ、ゲーム、DJ

講師・守時 健さん

講演テーマ 売上1億円突破！「高知かわうそ市場」
～しんじょう君店長が気づいた変化とは～



売上1億円突破！



須崎市マスコットキャラクター「しんじょう君」の生みの親である元須崎市職員の守時氏を迎え、ご講演いただきました。

守時氏は、須崎市職員時代に「しんじょう君」事業を担当され、令和2年2月に市役所を退職後、「しんじょう君」事業を運営する(株)パンクチュアルを設立し、現在は「高知かわうそ市場(通販サイト)」により、新型コロナウイルス感染症の影響で販路がなくなった食材(カンパチ等)の販売等を行っています。

講演では、旅行でたまたま訪れた須崎市を気に入ったことで市役所へ入庁したことや、都市の発展に必要と考える3つの要素「産業の転換」、「都市計画」、「情報発信」のうち、「情報発信」であれば1人でも取り組めると考え、入庁1年目でありながらキャラクターを用いた情報発信に関する事業を企画したことで、「しんじょう君」の誕生に繋がったという経緯をお話いただきました。



また、高知県でトップレベルを誇る「しんじょう君」の発信力(Twitter フォロワー数10万人以上等)とふるさと納税を連携したら面白いのでは?というアイデアから、ふるさと納税に携わったところ、市の納税額が大幅に増え、近年は毎年10億円を超える状態が続いているというお話もしていただきました。

一方、『「しんじょう君」のPRの秘訣は、PRをしないこと』と驚きのお話もありました。「自分が宣伝したいことよりも相手が見たいものを見せる」という考えのもと、情報発信の際に市のPR等を控えることで「しんじょう君」に対する関心を高め、その事が結果的に市に経済効果をもたらしているとのことでした。

このように、情報発信の仕方を意識してこられた守時氏ですが、新型コロナウイルス感染症による社会の変化を踏まえて、「今後世の中は、リアルに人を集客するよりもネット(オンライン)集客に確実にシフトする。しかし、リアルにはリアルの良さがあるため、結局は双方を掛け合わせていくことが、これからの世界を生き抜く術になる。」と語りました。最後には、学生の皆さんに勉強の大切さなどをお伝えいただき、講演を締めくくっていただきました。

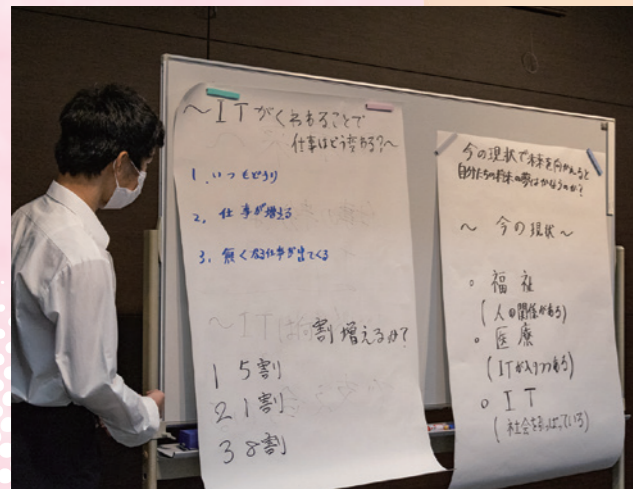
Aグループ
将来の夢・未来の私

土佐女子高等学校 2年 福井 久晃 / 青木 みらい / 加来 颯平
 高知工業高等学校 2年 渡邊 佑典 / 田中 日菜 / 黒岩 七海
 岡山高等学校 3年
 高知商業高等学校 2年
 ファシリテーター
 加納 楓斗



私たちは、今の社会のまま未来を迎えると自分たちの将来の夢は叶うのか?ということをお話ししました。
 まず、現状では、医療分野ではIT化が進みつつあり、ITが社会を引っ張っている状態だと考えました。

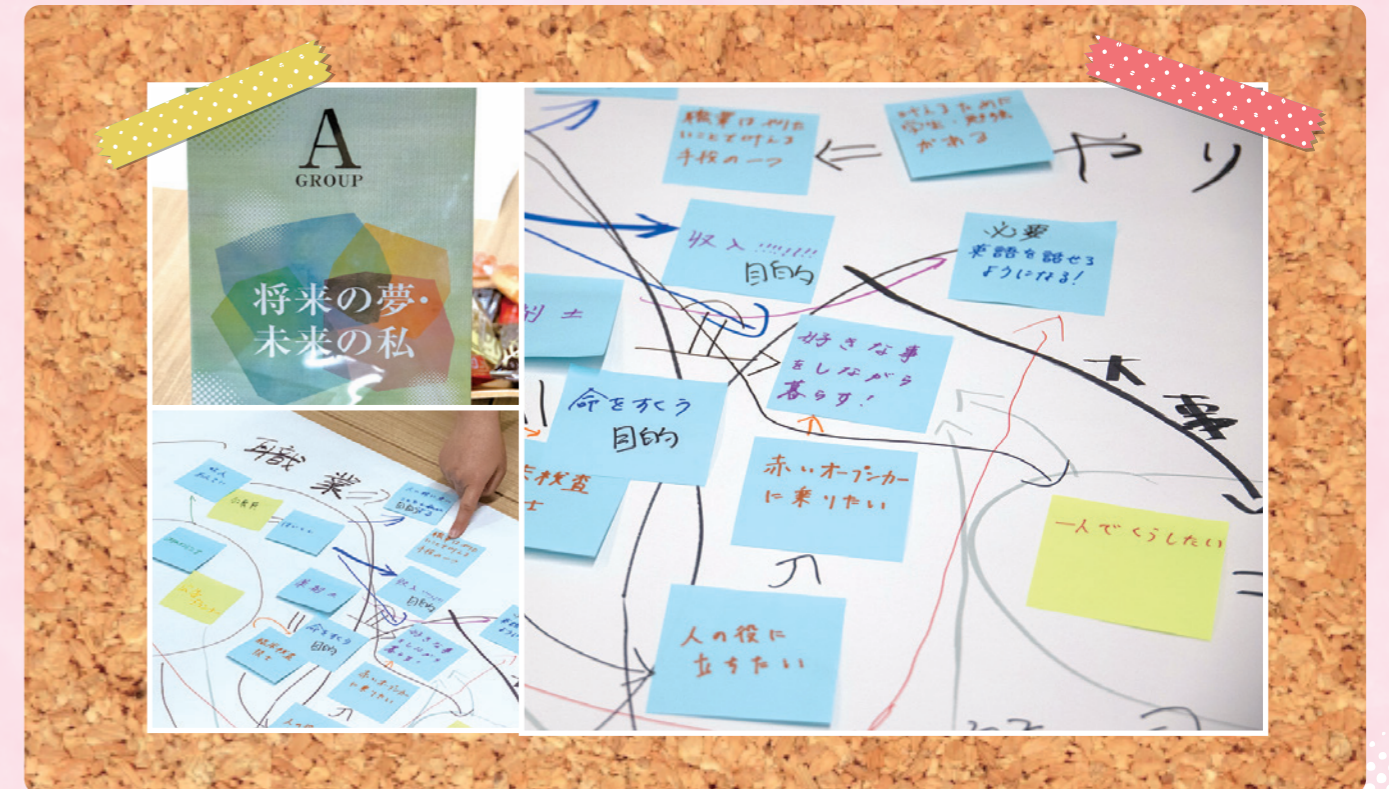
IT化が進むことで、仕事はどう変わるか。
 IT化が進むことで、これまで人が担っていた仕事をITが担うようになることから、人が担う仕事の中でなくなるものができます。



そのことを踏まえて、私たちが何をしなくてはいけないのかということが一番の課題になると思います。IT化に対応するために、プログラミングや数学を学ぶといったことが必要になります。

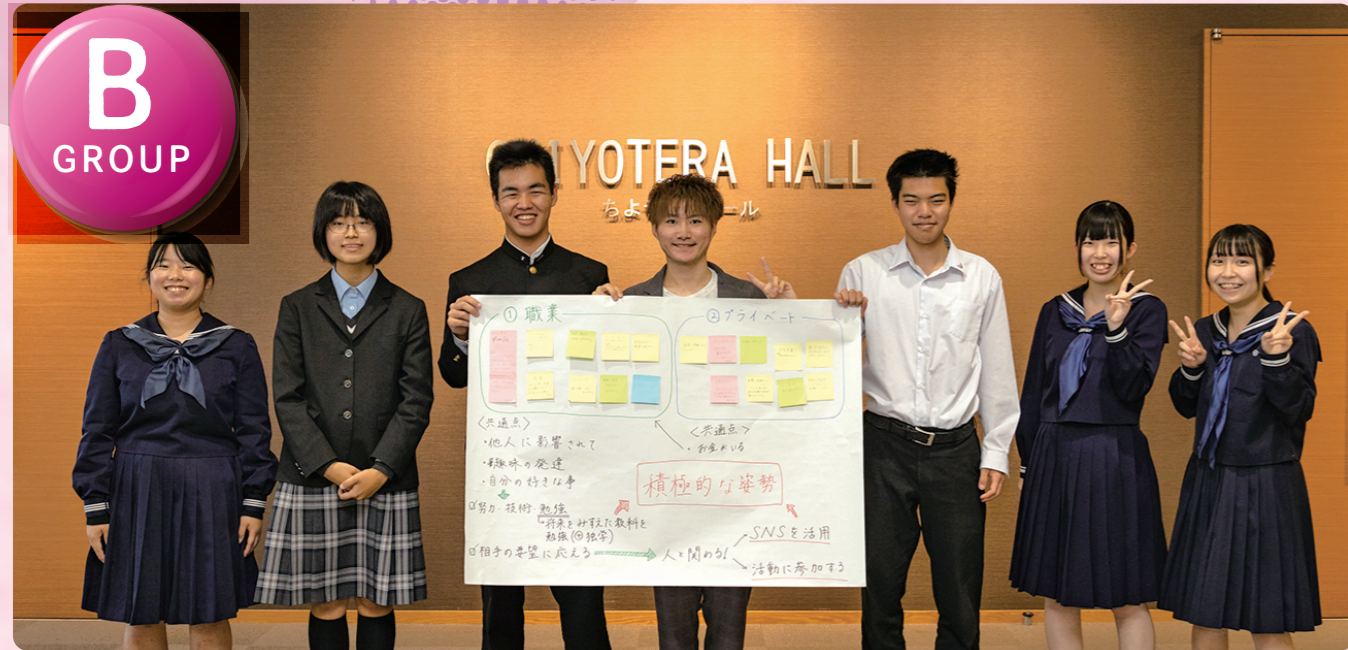


また、IT化が必要となる仕事に対応できるようにシフトしていかなければなりません。
 私たちは、未来の仕事の半分はAI、もう半分が人で支え合っているのではないかと結論になりました。



Bグループ
将来の夢・未来の私

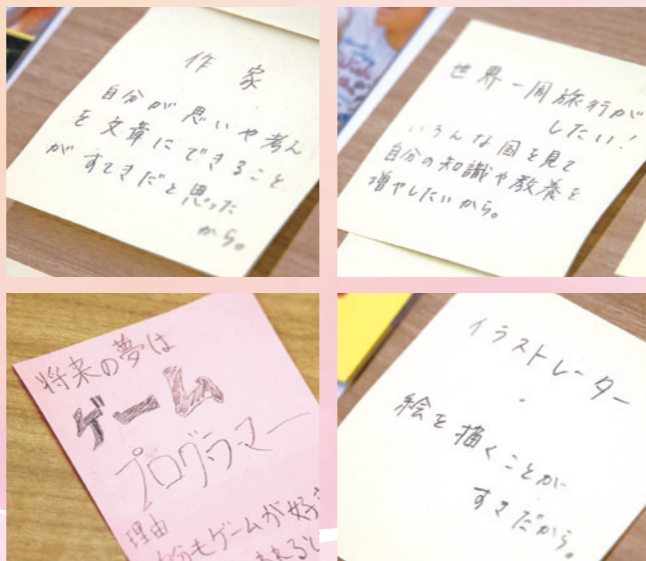
土佐女子高等学校2年 田辺 愛奈 / 土佐女子高等学校2年 小山 空希 / 高知工業高等学校2年 北村 卓己
高知工業高等学校2年 橋本 翔 / 高知商業高等学校2年 畠中 亜弥 / 高知丸の内高等学校2年 元久 莉緒
ファシリテーター
獅々堀 達哉



私たちは、未来の私について、「職業」と「プライベート」で分けて案を出し合いました。

「プライベート」では、外国へ行きたいといった意見や、全国制覇をしたいといった意見が出ました。意見の共通点としては、お金が必要ということでした。

そのお金を稼ぐために「仕事」をする必要がありますが、将来なりたい職業としてゲームプログラマーや作家、イラストレーターなどが挙がりました。



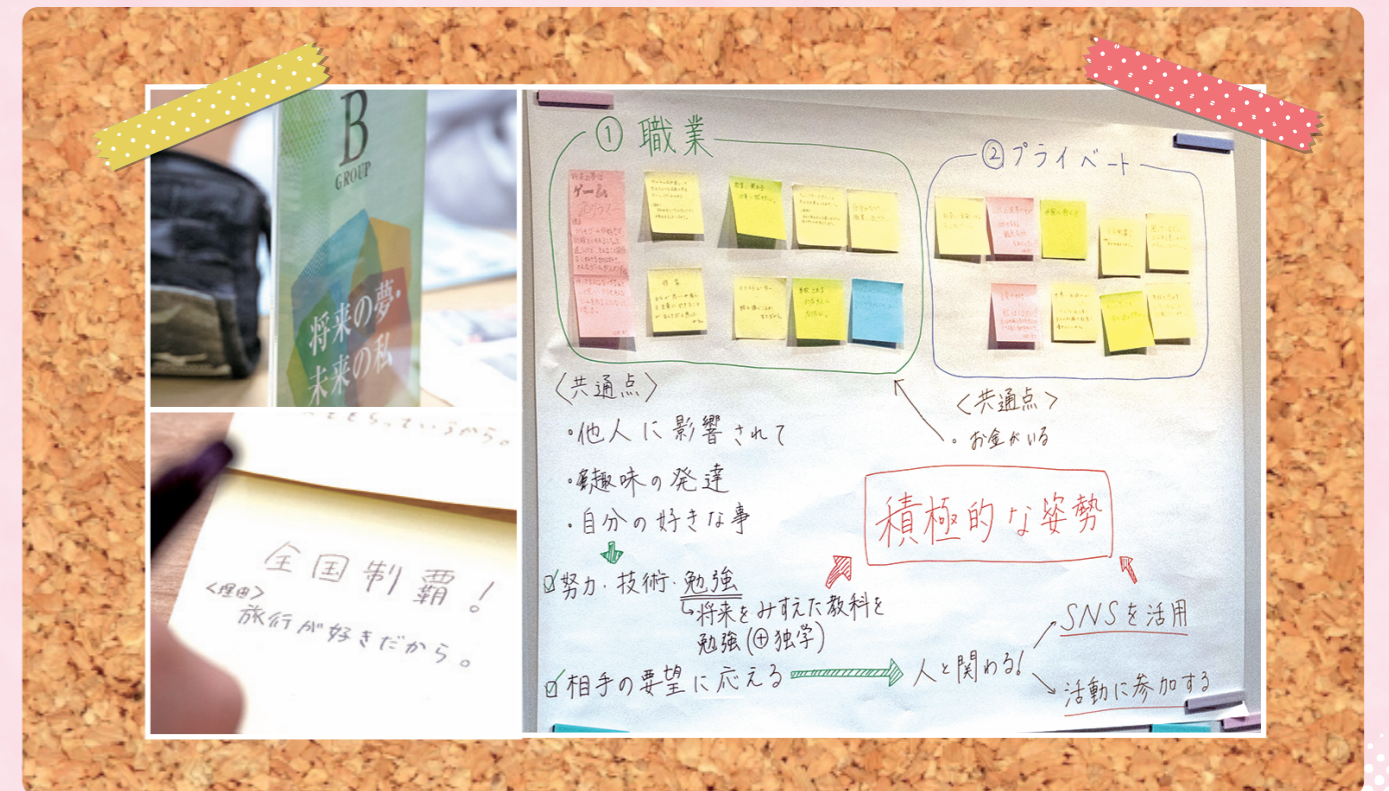
また、それぞれの職業を目指すきっかけとして、他人に影響されてなりたかった、趣味が発展してなりたかった職業を見つけられた、自分の好きなことがやりたいといった共通点がありました。

「将来なりたい職業になるために必要なこと」は、技術を磨く、勉強をすることです。勉強では、将来を見据えた教科を勉強することなどが挙げられます。



また、相手の要望に応えるということも大切だと思います。相手の要望を自分が知るためには、人と関わるのが大事であり、人と関わる手段としてはSNSでのやり取りや、本日のようなフォーラムに参加するといった活動を通して人と関わっていくことが手段として考えられます。

これらのことを達成するために、私たちは、積極的に活動することが重要だと思いました。



Cグループ
将来の夢・未来の私

土佐女子高等学校2年 坂本 佳穂 / 土佐女子高等学校2年 田上 夏希 / 高知工業高等学校2年 橋本 大悟
高知工業高等学校2年 中澤 愛七 / 高知小津高等学校2年 小松 史歩 / 高知商業高等学校2年 穂積 咲空
高知学芸高等学校1年 橋詰 拓尚 / ファシリテーター 磯野 楓

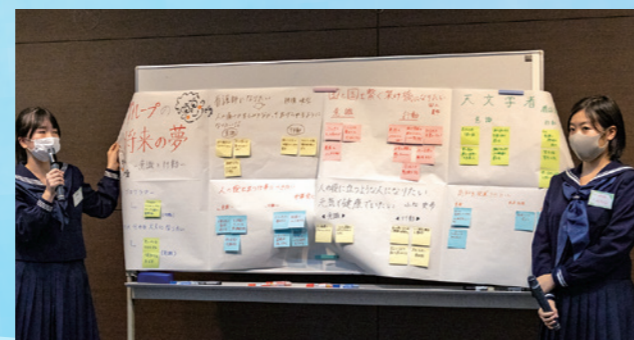


私たちは、将来の夢について語り合い、それぞれ「意識」と「行動」に分けて考えていきました。

私の将来の夢は、看護師になることです。看護師になって人の痛みや苦しみを分かってあげられるような人になりたいです。そのために、周りを察して行動できるようになったり、根拠を持つことを意識していきたいです。行動としては、困っている人の相談に乗ってあげたり、勉強をもっと頑張っていきたいと思います。

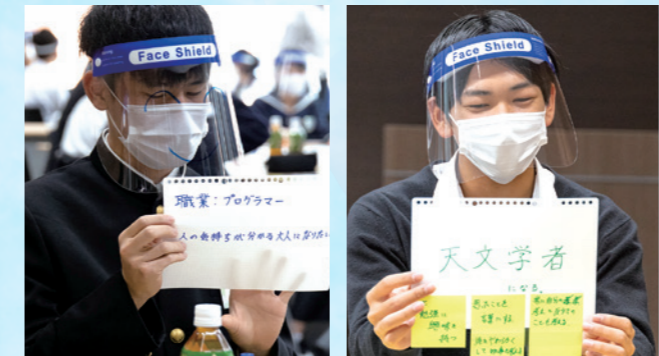
私は、国と国を繋ぐ架け橋になりたいです。意識としては、人と人の繋がりを大切に、意見をはっきり言っていきたくと思っています。行動としては、英語をもっと喋れるようにして、将来的にはアメリカの大学に行きたいです。

僕の将来の夢は、天文学者になることです。朝、太陽が昇るのではなく、自分たち地球が回っているから太陽が昇るように見えるというふうに考えることが僕の心をワクワクさせます。意識することは、自分の考えていることの反対のことを常に考えることです。行動としては、もっと勉強に興味を持っていきたくと思っています。



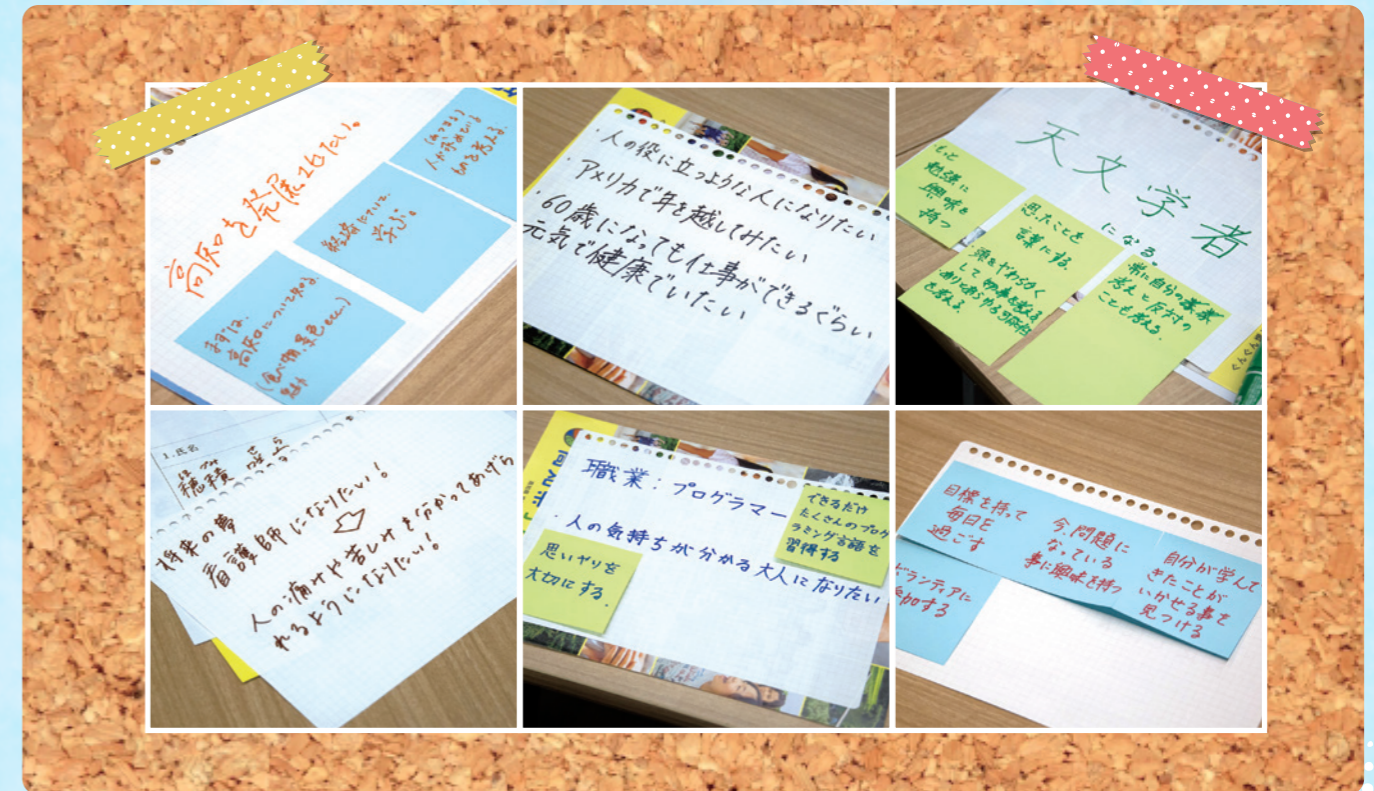
私の将来の夢は、プログラマーになることです。そのためにできるだけ沢山のプログラミング言語を習得して、柔軟な対応ができるプログラマーになればいいなと思いました。また、人の気持ちが分かる大人になりたいと思いました。そのために、まず人見知り直すことと、思いやりを大切にすることが大事だと思いました。

私の将来の夢はまだ決まっていますが、人の役に立つ仕事に就きたいと思っています。そのためには、目標を持って毎日を過ごすことや友達の相談を聞いたり、様々な資格を取るなど、将来の夢の可能性を広げられるようにしていきたいです。



私は将来、人の役に立つような人になって、元気で健康でいたい。そのために、色々な場面に対応できるように力をつけて、人と接する機会を増やしていきたいです。

私の将来の夢は、高知を発展させることです。まずは、高知の魅力について知ったり、人が求めているものを考えたりしたいです。そのために経済について学んだり、高知の様々なところに行ってみたり、みんなが高知についてどう思っているか考えてみたい。です。



Dグループ
将来の夢・未来の私

土佐女子高等学校 2年 山中 千聖 / 伊藤 希海 / 松下 星斗
 春野高等学校 1年 箭野 有咲 / 高知小津高等学校 2年 上島 唯 / 室戸高等学校 2年 安岡 真人
 ファシリテーター
 秋山 美羽



私たちは、「仕事」と「人との関わり」について分けて考えました。

人生の目標である「仕事」に対する夢を叶えるために、私たちにできることは、情報を集めることや沢山チャレンジすること、やりたいことを明確にすること、知識を共有することといった意見が出ました。



もう一つの「人との関わり」については、人と関わる頻度で分けました。人との関わりが少ない方では、自立したいといったことや思いやりのある人になりたいといった意見が出ました。そのためには、チャレンジを沢山したり手段を考えて実行することが大切といった意見が出ました。



人との関わりが多い方は、コミュニケーション能力を高めることや話し上手になること、英語を話せるようになることなどの意見が出ました。また、人との関わりが多いことをするために必要なこととして、周りの人を大切にするという意見が出ました。



Eグループ
アフターコロナの
世界とどう向き合うか

土佐女子高等学校 2年 土佐女子高等学校 2年 土佐女子高等学校 2年
宗石 百叶 / 和田 恭佳 / 田部 鈴夏
高知工業高等学校 2年 岡豊高等学校 2年 春野高等学校 2年
池本 陸 / 濱口 桃菜 / 岩戸 瑛士
高知北高等学校 3年 梶原高等学校 2年 ファンリーダー
松澤 咲輝 / 明神 光竜 / 山口 彩



私たちは、アフターコロナの軸を考えてみました。
その軸を考えるうえで、アフターコロナとなった世界のことについて意見を出し合ったところ、「安心感」と「ワクチンの開発・普及」、「マスクをしたうえで旅行に行ける社会」、「やりたいこと」の4つの観点に分けることができました。

まず、ウィズコロナの世界について出し合った意見を、「行動」と「感情」に分けて考えました。

「行動」に関しては、コロナの影響で留学に行けなくなったり、旅行に行けなくなったりしたという影響がありました。「感情」では、進路実現ができるか不安、休校にならないか不安などの意見が出てました。

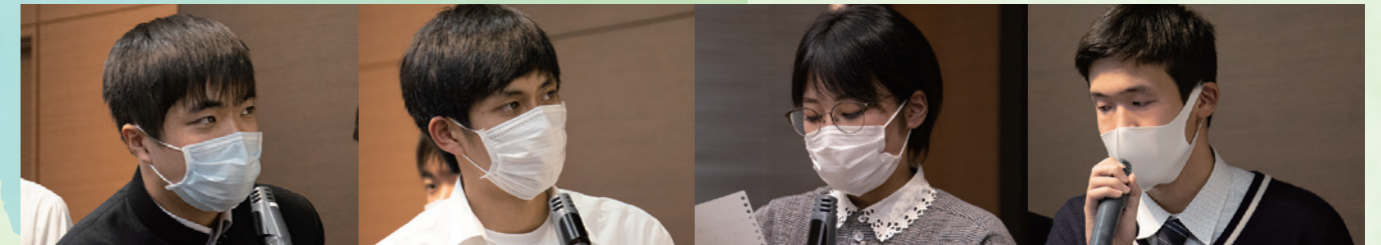


ビフォーコロナとウィズコロナで考えたことをアフターコロナでまとめてみました。

アフターコロナでは、白い目で見られないことや、コロナにかかっても治るといふ「安心感」、「ワクチン開発・普及」、「マスクをしたうえで旅行に行ける社会」、「やりたいこと」として、ソーシャルディスタンスを守って、課外活動とかに参加できるという4つの観点に分けました。



アフターコロナというものに基準を作るために、このように分けました。その基準をそれぞれ満たすものが最終的に個人個人の安心感につながるの、これらを満たすために何をすべきかというふう考えた結果、ワクチンの開発だけでなく、ワクチンの普及が必要という考えになりました。



Fグループ
アフターコロナの
世界とどう向き合うか

土佐女子高等学校2年 山崎 朝咲日 / 土佐女子高等学校2年 前田 ゆとり / 土佐女子高等学校2年 横田 遙
高知工業高等学校2年 大崎 瞭 / 岡豊高等学校2年 戸梶 絵乃 / 春野高等学校3年 西川 朋華
土佐塾高等学校1年 広川 昌暉 / ファシリテーター 平岡 駿一



私たちは、まず「コロナになってからできなくなったこと」等話し合い、次に「コロナで嫌だったこと」、「制限されたこと」、「コロナのお陰で気づけたこと」等について話し合い、さらに「コロナが収まったらやりたいこと」を話し合ったうえで、最後に「そのために今、私たちにできること」という流れで話をしました。

まず、「コロナになってからできなくなったこと」では、旅行やよさこいなどのイベントができなくなったことや、学校での行事がなくなってしまったということが挙がりました。



「コロナで嫌だったこと」では、補習が多いということや、自由に県外や国外に行けないといったことが挙がりました。

「制限されたこと」では、リモート環境が整っていないことが挙がりました。

「コロナのお陰で気づけたこと」では、人に会う大切さが分かりました。

「コロナが収まったらやりたいこと」として、友達との国外旅行や、マスクを取って生活するという意見が出ました。



まとめとして、「今私たちにできること」について、3つの面、「メンタル面」「感染対策面」「個人のスキルアップ面」から考えました。自分たちがコロナに負けず、他人にも迷惑をかけないように、時には我慢し、よく考えて行動する必要があるという結論になりました。



Gグループ アフターコロナの世界とどう向き合うか

土佐女子高等学校2年 山下 時奈 / 鍋島 咲良 / 島田 夏夕
 高知工業高等学校2年 小松 尚隆 / 久保 明央人 / 岡田 楓華
 高知西高等学校1年 浅井 萌菜 / ファシリテーター 有吉 愛実



まず、コロナウイルスが発生する前の状況として、おそらくこの会場にいる人たち全員が、自分の趣味や、自分がやりたいことができていたと思います。ですが、コロナの発生によって、制限された生活を強いられることになりました。

「コロナ禍で思ったこと」は、まずイベント等の沢山のことができなくなったということに対して、学校が休校になったことで時間ができて、その時間に新しい趣味や発見などがあったというメリットの意見も出ました。



そこで「アフターコロナの世界とどう向き合うか」を考えたところ、「個人（自身）の働きかけ」として、趣味を広げることや、今まで遊んでいた時間を勉強に充てるなどして、コロナで制限されている状況を活かしていくことが大事だと思いました。

「社会への働きかけ」として、買い物をすることで経済の活性化を図ること、世界各国の情報共有を強化すること。



そして何も気にせず、外に遊びに行けるありがたさを知るという意見が出ました。

コロナ禍になって習慣になった手洗いなども、これからも続けていくべきだという意見も出ました。



Hグループ アフターコロナの世界とどう向き合うか

土佐女子高等学校2年 土佐女子高等学校2年 土佐女子高等学校2年
 深田 萌花 / 片岡 真生 / 藤井 里帆

高知工業高等学校2年 高知工業高等学校2年 春野高等学校3年
 松浦 晏也 / 横川 武典 / 浜口 結羽

高知北高等学校2年 ファシリテーター
 廣内 誠 / 正岡 丈



私たちは、「ビフォーコロナ」や「ウィズコロナ」を踏まえて、アフターコロナの世界とどう向き合うかについて考えました。

「ビフォーコロナ」では、コロナが流行する前に私たちがしたかったことを考えました。例えば、部活の大会や県外、ライブ、祭りに行きたかったという意見が出ました。ウィズコロナになった今、これらができなくなって非常に残念だと思っています。



「ウィズコロナ」では、コロナ期間中に思ったこととして、勉強や仕事などの影響やコロナウイルスへの感染対策の大変さ、面倒くささなどが挙がりました。こういった様々な意見を聞いて、自分と同じ思いをしている方たちが多くいること、今まで当たり前のようにできていたことの中で、コロナによりできなくなったことが多くあるということに改めて気づかされました。

「ビフォーコロナ」と「ウィズコロナ」を踏まえて、「アフターコロナ」では、どのようにしていけば良いのかを考えました。

「対策」として、体調に気をつけて必要以上に医療従事者を忙しきさせないことと、手洗い、うがい、消毒を継続するという考えました。

「イベント面」では、人数制限をしてイベントを開催したり、予約制などにして密を避けたりすることを考えました。



「コロナへの不安」に対しては、コロナに関しての正しい情報を沢山仕入れて、不安につけ込むような犯罪行為をしないようにし、SNSでの発言に気をつけ、優しさや思いやりを持つことが大切だと感じました。

「これからの世界をどう生きるか」を考えたときに、みんなで協力して、できないことではなくてできることに目を向け、できないことをどのようにしたらできるかを考えてこれから生きていこうという結果になりました。



しんじょう君「じゃんけんゲーム」



参加者が少しでも緊張をほぐせるように「じゃんけんゲーム」を全員で行いました。
 まずは、グループ内で「じゃんけん」をしてもらい、勝ち残った方のみでグループ対抗による「じゃんけん」をしました。勝者には、「しんじょう君」より、しんじょう君のデザインをあしらったクッキーを贈呈。
 短い時間でしたが、参加者の皆さんも楽しんでいる様子でした。



A B C D グループ講評

香美しぜん学校

矢田 幸嗣

やだこうじ



会場にいるすべての皆様方、お疲れさまでした。本当に素晴らしいディスカッションでした。プレゼンテーションでは、それぞれのグループの個性が出ており、また、テーマに沿った的確な発表ができていたと思います。

最初にこの会場に来た時の気持ちをちょっと思い出していただけますか。今の気持ちと比較してどうですか。同じグループの方に対してものすごく親近感が湧いていませんか。フォーラムは3時間という短い時間ですが、その中でも皆さんがそれぞれのグループで熱心に討議したことで、今日初めて会ったグループのメンバーとも親密な関係になったのではないかと思います。

本日は、将来の夢に関する事やアフターコロナの世界との向き合い方に関するテーマでディスカッションをしていただきましたが、参加者の皆様にとっては、人とディスカッションをしたりコミュニケーションを取ることの大切さや、様々な人と関わることで自身の考え方などが変わっていくんだということが体感できたんじゃないかと思っています。

若い世代の意見は、私たち中高年にとって生きる力につながります。

本日はお疲れ様でした。ありがとうございました。

E F G H グループ講評

株式会社パンクチュアル

守時 健

もりときたけし



皆さん、お疲れさまでした。それぞれのグループのディスカッションやプレゼンテーションを拝見させていただきましたが、本当に全てが興味深かったです。

高校生の頃の自分を思い出すと、一日中眠たいとは思っていませんでしたので、今日のフォーラムに参加しようと思い、実際に参加された皆さんの行動力や積極性は素晴らしいと思います。

また、皆さんは、ディスカッションテーマについて

考えを巡らせながらも、今日初めて会ったグループのメンバーとちゃんとディスカッションができていましたし、自分の考えを発言できていました。「アフターコロナの世界とどう向き合うか」という難しいテーマでしたが、グループ毎にそれぞれの視点から結論を導き出して、その方法や発表内容に楽しませていただきましたし、感心しました。本当に素晴らしいと思います。

皆さんのような方々がいたら、高知県の未来も安泰だなと思いました。是非、将来の就職先の候補に私の会社を入れていただきたいと思いました(笑)。

本日はありがとうございました。

ディスカッション参加者

Q1. あなたは「高知県子ども条例」を知っていましたか？

①以前から知っていた	8
②フォーラムに参加(応募)する際に知った	11
③今日初めて知った	34
合計	53

Q2. 参加した動機を教えてください(複数回答可)

①同世代の人と話ができるから	14
②講演に興味があったから	15
③先生や周りの人の勧め	41
④今年はコロナでイベントが少なかったから	4
⑤その他	4
合計	78

Q4. フォーラムの中で、自分の意見を言えましたか？

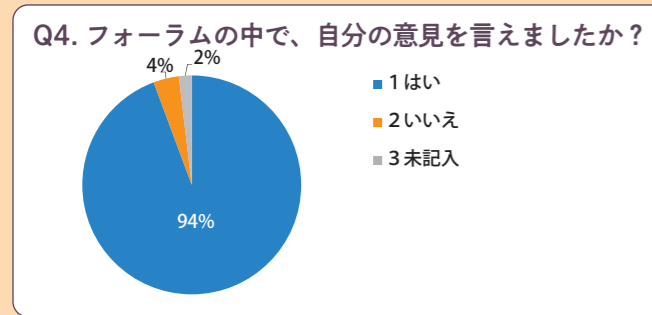
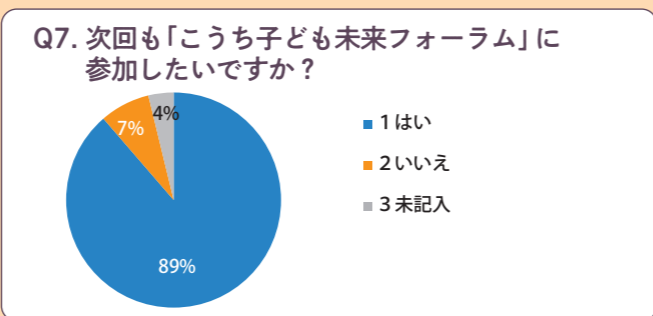
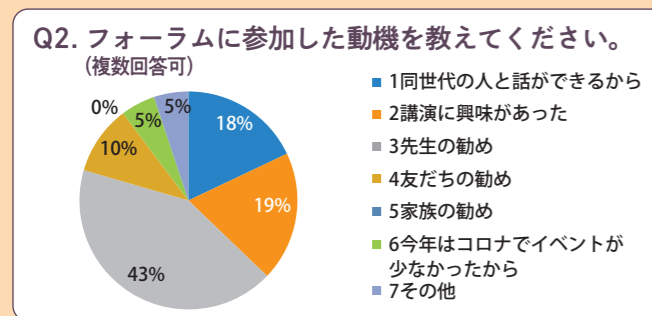
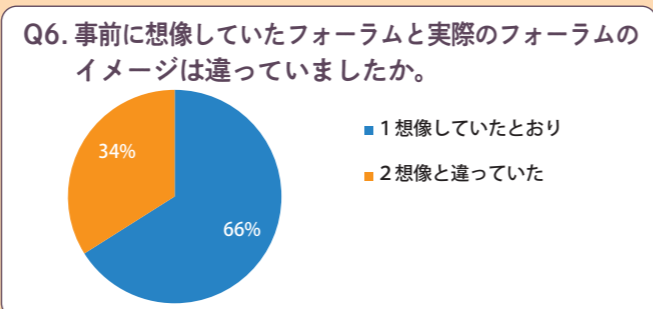
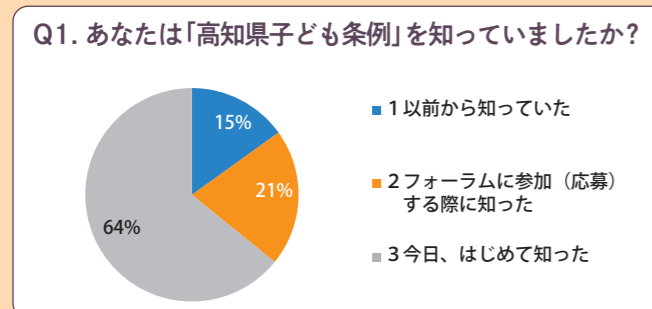
①はい	50
②いいえ	2
③未記入	1
合計	53

Q6. 事前に想像していたフォーラムと実際のフォーラムのイメージは違っていましたか？

①想像していたとおり	35
②想像と違っていた	18
合計	53

Q7. 次回も参加したいですか？

①はい	47
②いいえ	4
③未記入	2
合計	53



Q3. フォーラムに参加した感想をお聞かせ下さい。

- 自分の意見を発信して議論することができ、思っていたよりも面白くて楽しく、参加して良かったです。
- 人と問について話せて楽しかった。
- 最初の緊張が終了する時にはすごく楽しいと思えた。協力してひとつのものを作り上げて達成感もあり良かった。
- 知らない人と短時間で話せるようになって良かったです。
- 最初はすごくドキドキしましたが、皆と仲良く話せて良かったです。
- 最初はとても緊張しましたが、ディスカッションでは、自分の意見を言うことができ、皆で協力して模造紙を完成させることができたので良かったです。
- 皆のコミュニケーション能力の高さに驚いた。自分は全然話せなかったし、活躍できなかったのが悔しい。
- 初めは緊張したけど、話してみたらグループの人たちと親密にグループディスカッションができたので楽しかった。
- 最初は緊張したけど、次第に話せるようになった。自分の意見を言えたと思う。
- とても楽しかったです。自分は積極的に話すのが苦手だったけど、この活動で少しはコミュニケーションを取れるようになって成長できたかなと思います。
- 楽しかったです。色々な意見を聴けて新鮮でした。
- 実際に同世代の人たちと話すことで、自分の知らなかった新たなことが知れて良かった。
- 緊張したけど、他校の人と話せて楽しかった。
- 良い経験になった。この活動を今後の糧にしていきたい。
- 最初は緊張したけど、話すうちに慣れて良かったです。
- 最初は緊張し、なかなか話すことができませんでした。時間が経つにつれ打ち解けてグループのみんなとディスカッションすることができて良かったです。
- 初めは緊張していたけど、みんなで仲良く協力し合ってディスカッションできて良かった。楽しかったです。
- 最初は緊張したけど楽しかったです。
- 思った以上に人と関わることが多く、いかに自分が消極的であるかを知った。
- 色々な人の話を聞いて、参考になった。
- もっと意見を伝えられたらと思った。
- 最初はとても緊張していたのですが、楽しく話し合いができ、有意義な時間を過ごすことができました。
- 色々な意見や考えが知れて、良かったです。
- なかなか難しい議題だった。どう解釈すれば良いのか？どういう意見が流れを円滑にするのか、など、「？」が多い会だった。
- 普段、交流がない人と1つのことについて考え、自分の意見を出し合うという貴重な体験ができ、応募して良かったと思いました。
- 色々な意見があり、色々な人がいるなと思い、勉強になりました。
- 人見知りを少し直せたのかなと思います。
- 初めは緊張したけど、だんだんと緊張しなくなった。
- コロナについて色々考えることができて良かった。
- 同世代の人と話せて良かった。
- 沢山のひとと交流できて楽しかったです。
- 1つの議題について、沢山の違った意見が聞けて良かった。
- 十人十色の意見があつて面白かった。初対面の人には、やっぱり緊張しました。
- ディベートの良い練習になりました。
- 意見をまとめて伝えることが難しかった。
- 様々な意見が知れて面白かった。
- すごく楽しかった。自分の為になった。
- 知らない人と話せて楽しかった。
- グループで1つの題目について話すことはあまりなかったので、良い経験になった。

Q5. 同世代の人や、専門家の話、ファシリテーターの話を聞いてどう思いましたか？

- 自分にはない視点で同じことを考えるグループの人の意見は「なるほど！」と思うことが多く、勉強になりました。
- 同世代の人の意見が聞けて、自分の意見と似ているところがあって安心した。
- 色々な考え方について知れた。 ●自分では出なかった発想がでてきて、驚きました。
- 将来について、もう一回考え直す必要があると感じた。 ●自分と違う意見があって、面白いと思った。
- 自分たちのグループの中で出た意見からいくつかの視点に分けて考え、深掘りしていくためのヒントになりましたし、とても参考になりました。
- グループ活動の時は、ひとつの意見や考えに対して深いものがつまっていて、先まで見えている感じがして、すごいなと思った。主張や根拠がはっきりしていて、話が上手かった。
- 自分と同じ意見を持つ人でも違った観点を持っており、皆が意見を認め合っていた。それをファシリテーターの方がまとめてくれて、グループで色々な意見を認め合っているなと思った。
- それぞれが思っていることの実現をしっかりと考えている。
- 同世代の人たちの話はすごく共感できて親近感が湧きました。ファシリテーターの方が、みんなをまとめてくださってありがたかったです。
- 新しいことや、違う見方に気づけて役に立ちました。 ●すごく為になったし、新しい知識が増えたので良かった。
- それぞれが色々なことを思って将来に向かってるので、感心しました。
- 色々な意見があって、面白いと思った。 ●「なるほど」と思うことが多くて勉強になった。
- 目標の明確さに驚かされた。見習っていきたい。
- 共感できることが多くあった。 ●自分の見えていない所もあるんだなと思いました。
- 同世代の方が明確な夢を持って、そこから行くべきことまで、しっかりと目標を持っていることに驚き、それが気づきになりました。
- 他校の人とはあまり関わる機会がないので、同世代の人と話せて、色々な意見も聞けて良かったです。
- 自分にはない意見がたくさん聞けて良かったです。
- とても為になった。将来やこれからの自分の生き方や考え方の参考となった。
- 夢を語ることが少ないので、とても新鮮な気分になった。
- 自分の考えをしっかりと持っていて、すごいなと思った。
- 人それぞれしっかりとした意思を持っており、素晴らしいなと感じました。
- それぞれが自分の意見を分かりやすくまとめていて、勉強になりました。
- 面白い。情報を選別していくことが大事。 ●未来は自分たちの手で変えていける。無限の可能性があったと思った。
- 自分には思いつかないような意見を聞けて嬉しかったです。 ●コロナについて、深く知ることができた。
- 守時さんが紹介した「自分が宣伝したいものではなく、相手の見たいものを見せる」という言葉に感心。
- みんな将来のことも考えていて、すごいと思った。 ●面白かったし、話し合いの参考にもなった。
- 同じ意見、違う意見をまとめて分かりやすく進行してくれた。
- 他校の人などとも意見交換ができて、考えの幅が広がりました。
- 違うグループの発表を聞くと同じテーマなのに、そんな考えもあるんだなと思った。
- 自分とは違う目線から考えている人が沢山いて、参考になった。 ●心にグサツときた。
- みんなの意見や想いを聞けて、それぞれの苦労があったことが分かった。

Q6. 事前に想像していたフォーラムと実際のフォーラムのイメージは違っていましたか。

- もっと緊張をするものだと思っていましたが、わいわい明るくでき楽しかったです。また、アイデアを出したり、議論することはできても、まとめたり、多くの人に伝えることはさらに難しく、これも課題だと感じました。
- 堅いイメージかと思っていたが、とても楽しかった。
- もっと専門家の人と深く話しあうのかと思っていた。 ●皆が活発的で発言する機会が多かった。
- ディスカッションでは、相手の意見に対してどんどん自分の意見を述べていかなければならないのかなと思っていた。しかし、付箋に自分の意見を書き、発表していくということだったのでやりやすかったです。
- もっと話し合いをするのかと思っていたけれど、紙にまとめてプレゼンを行ったことで今日したことを深く考えることができ、形として残った。
- もう少し自分がグループに溶け込めないという感じだった。
- 話し合っただけかと思っていたけど、プレゼンもするということが分かってビックリした。
- もう少し議題が具体的だと思っていた。 ●コロナ対策で昨年とかなり変わっていた。
- アットホームな感じがあった。 ●それぞれのプロフィールについて、もっと話すとと思っていた。
- 皆フレンドリーで楽しかった。

Q7. どのような内容なら参加しやすいですか？

- 少子高齢化についてや地域活動（活性化）などで、私たち学生ができることなど
- 少子高齢化について、高齢化の問題点、地球温暖化について
- スポーツ、趣味等 ●"勉強" "学校" "進路" "好きなモノ" ●様々な人に講演を行ってもらう。
- 高知を活性化させるというテーマ ●「高知を発展させるために」というテーマ
- 高知をもっと元気にするためには ●将来の夢についての話し合いはとても良いと思います。
- 起業家の人の話をまた聞きたい。国際協力している人の話も聞きたい。
- いじめについて話し合ってみたいです。 ●SNSが起すメリット、デメリット ●苦労人の話を聞きたい。
- 具体性を持ったものではなく、少し抽象的なもの。
- Uターン、Iターンをしてきた方の話。(魅力、メリット、デメリット)
- ちやがまらん(高知のユーチューバー) ●学生の仕事とは
- 将来の夢など、もし自分が会社を興すならなど ●自分の好きなものや、将来の目標など
- 有名人、実績を持っている人(社長など)、ロンブーの敦さん系。
- 高知県知事 ●海外についての講演を聞いてみたい。 ●具体的で明確な内容
- 高知の未来のためにできること ●消費税増税

ファシリテーター・専門家

Q1. 子どもたちの意見（発表）を聞かれてどう思いましたか？

- 大学生以上の知識や意見を持っている生徒さんも何人かいて、非常にハイレベルなディスカッションであると思った。
- とても新鮮な気持ちになった。 ●とても素晴らしく、高知の未来は安泰だと思いました。
- 今年は「将来の夢、未来の私」のテーマで高校生の意見や、キラキラした夢や将来について聴くことができ、コロナの状況下でも明るい話ができ良かったです。
- テーマが難しかったのでグループ分けなどにより苦労していたように感じました。前半はぎこちない様子だったけど、後半になるとお互いに意見を言っている感じでした。
- 高校生は大学生にはない視点を持っているなど感じた。想定していた意見と全く違う意見も出てきた。
- 様々な意見が出て楽しかった。自分たちとは考えが違って個性があっただけ楽しかった。
- 3分の発表でも沢山ディスカッションしたことが伺えました。
- 感じ方はそれぞれあり、それを知れたことは良い経験になったと思う。伝え方に関する知識は、まだ身につけていない印象を受けた。
- 若い世代の意見は、私たち中高年にとって生きる力につながります。本当にありがとうございました。

Q2. フォーラム全体を通じての感想をお聞かせ下さい。

- 「子ども」を主体とした条例はあまり聞いたことがなかったので、とても勉強になりました。少子対策の政策について、もっと調べてみようと思いました。
- また機会があれば、参加したい。今日はありがとうございました。
- 高校生一人ひとりの発言をしっかり聞いて共有し合える場をつくることができました。
- 今回、フェイスシールドを着用してのグループディスカッションだったので大変でした。講演会など、おもしろく興味深い話が聴けて楽しかったです。
- 全員の意見をうまく吸収しきれなかったのが心残り。 ●とても勉強になった。もっと色々な機会に触れたい。
- 高校生の未来のために、とても有意義なものであると感じました。 ●良い経験となった。また参加したい。
- 構成も内容もとても良かったです。 ●主催者の皆様方の心遣いが学生の皆様に伝わっていると感じました。

Q3. 次回開催時に改善した方が良いお気づきの点がありましたらお聞かせ下さい。

- コロナのこともあり仕方ないですが、フェイスシールドや机の広さで少し感覚的に昨年より距離を感じる部分がありました。
- ディスカッションの時間がもう少し長い方が良い。まとまりきらないので、、、(あと10分ほど長いと良いと思った。)
- 背が低い子は、机の距離で参加しづらそうだった。
- マスクとフェイスシールドの併用は、少しディスカッションしづらかったです。

一般参加者

Q1. あなたは「高知県子ども条例」を知っていましたか？

①以前から知っていた	4
②フォーラムのチラシ等で知った	3
③今日初めて知った	4
合計	11

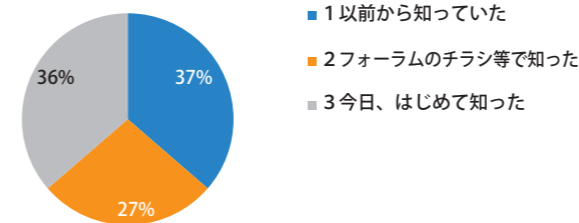
Q5. フォーラム全体を通じての感想をお聞かせ下さい。

①期待どおり	6
②どちらでもない	2
③不十分	0
合計	8

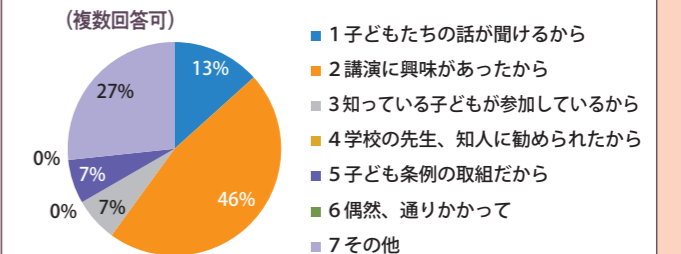
Q2. フォーラムに参加したした動機を教えてください（複数回答可）

①子どもたちの話が聞けるから	2	⑤子ども条例の取組だから	1
②講演に興味があったから	7	⑥偶然、通りかかって	0
③知っている子どもが参加している	1	⑦その他	4
④先生、知人に勧められたから	0	合計	15

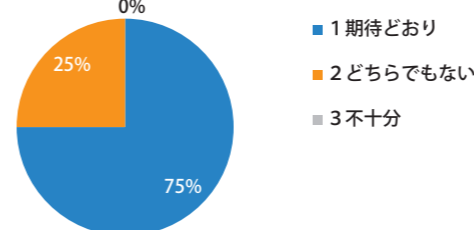
Q1. あなたは「高知県子ども条例」を知っていましたか？



Q2. フォーラムに参加した動機を教えてください（複数回答可）



Q5. フォーラム全体を通じての感想をお聞かせください。



Q3. グループディスカッションでの子どもたちの発表（意見）を聞いてどう思われましたか？

- 同じテーマでも異なる視点からまとめられており、興味深く聞かせていただきました。ファシリテーターの存在が大きいのだと思います。この数時間で各々、成長が感じられるものとなったのではないのでしょうか。
- 問題意識をきちんと持って、しっかりと考えを示していました。プレゼンもよく工夫されていました。
- 将来の夢やアフターコロナについて、自分を軸に考えて（自分がどう動くか）いて、様々な観点から切り込まれた。意見に驚かされた。こんな時期だからこそ、自分に何ができるかを考え、そしてそれを自分から実行していこうと思った。
- 皆さん、とても良い意見を言っていたと思います。とても素晴らしいなと思いました。
- 変化の大きい現代社会の波に乗りながら、将来について考えるのは大変なことだと思いますが、AIを活用しながら人にしかできない強みを活かしていくことが必要だとよく分かっているのだと伝わりました。

Q4. 講演 売上1億円突破！「高知かわうそ市場」
～しんじょう君店長が気づいた変化とは～の感想をお聞かせ下さい。

- 高知県民であるか否かにかかわらず、高知愛を持つ人たちの力を借りて活性化がなされていくのだなぁと思いました。若い方の柔軟な発想と発信力に期待です。多くの人に高知愛を抱いてもらうために一県民としてできることは何だろうと考えました。
- 高知のために1人で何かをすることは出来ないと思っていたけど、「情報発信」と「何かを掛け合わせる」ことで、何かを変えていくことが出来ると分かった。これからの高知を背負っていくのは自分のような若い人たちなので、一人ひとりがその自覚を持っていくことが高知を変える一歩になると思う。
- とても良い講演だと思いました。
- 情報化社会を利用して、しんじょう君の知名度や須崎市の税収につなげていて、その発想の行動力がこれからの社会に必要なと感じました。
- しんじょう君がイベントで、地元の宣伝をしない、というのはビックリでした。須崎市は行ったことがありますが、須崎市がブレイク＝高知県がブレイク！でとても良いことですね。やはり、今のネット社会の偉大さを感じました。
- 売りたいものよりも相手が見たいものを見せるというドラッグーの考えから、このやり方になったと初めて知りました。コロナ禍はキャラ活動と相性が悪いと言っていました、仕事とグッズ販売は増えるという意外な結果になったのは、守時さんの状況分析と柔軟な発想があったからこそと思いました。
- あえて発信しないというところに関心しました。
- 重要な話が聴けたと思う。

Q5. フォーラム全体を通じての感想をお聞かせ下さい。

- 期待も何も、前知識のないまま来させていただいたので、このような催しがあることに少し驚きました。グループディスカッションやプレゼンの能力が求められる今にぴったりのものだと思います。
- 今、中学生である自分がこれからどう動くかを考える際の指標になった。「自分で」考えることの大切さと、その考えを他人と共有することで未来の自分への投資になると思った。この見学も、将来の自分へつながっている、ここからどう動くかを考えるきっかけになった。
- 特に、グループディスカッションでの皆さんの発表の意見がとても素晴らしいなと思いました。
- 色々な学校の方と話すことができ、良い刺激になったと思います。ありがとうございました。貴重な機会になりました。子どもたちが将来に向かって夢を持って歩んでほしいと思います。
- 仕事のため、途中退場で、子どもたちの発表を聴けず残念でした。高校1年生の娘と一緒に一般参加で来たので、夜、子どもにどんな意見が出たのか詳しく聞いてみます。
- 大人が後でサポートというのが良いと思います。



こうち子ども 未来フォーラム 2020

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

ディスカッション参加者

A グループ テーマ / 将来の夢・未来の私

土佐女子高等学校	2年	福井 久晃
土佐女子高等学校	2年	青木 みらい
高知工業高等学校	2年	加來 颯平
高知工業高等学校	2年	渡邊 佑典
岡豊高等学校	3年	田中 日菜
高知商業高等学校	2年	黒岩 七海

B グループ テーマ / 将来の夢・未来の私

土佐女子高等学校	2年	田辺 愛奈
土佐女子高等学校	2年	小山 空希
高知工業高等学校	2年	北村 卓己
高知工業高等学校	2年	橋本 翔
高知商業高等学校	2年	畠中 亜弥
高知丸の内高等学校	2年	元久 莉緒

C グループ テーマ / 将来の夢・未来の私

土佐女子高等学校	2年	坂本 佳穂
土佐女子高等学校	2年	田上 夏希
高知工業高等学校	2年	橋本 大悟
高知工業高等学校	2年	中澤 愛七
高知小津高等学校	2年	小松 史歩
高知商業高等学校	2年	穂積 咲空
高知学芸高等学校	1年	橋詰 拓尚

D グループ テーマ / 将来の夢・未来の私

土佐女子高等学校	2年	山中 千聖
土佐女子高等学校	2年	伊藤 希海
高知工業高等学校	2年	松下 星斗
高知小津高等学校	2年	上島 唯
室戸高等学校	2年	安岡 真人
春野高等学校	1年	箭野 有咲

E グループ テーマ / アフターコロナの世界とどう向き合うか

土佐女子高等学校	2年	宗石 百叶
土佐女子高等学校	2年	和田 恭佳
土佐女子高等学校	2年	田部 鈴夏
高知工業高等学校	2年	池本 陸
岡豊高等学校	2年	濱口 桃菜
春野高等学校	2年	岩戸 瑛士
高知北高等学校	3年	松澤 咲輝
梶原高等学校	2年	明神 光竜

F グループ テーマ / アフターコロナの世界とどう向き合うか

土佐女子高等学校	2年	山崎 朝咲日
土佐女子高等学校	2年	前田 ゆとり
土佐女子高等学校	2年	横田 遥
高知工業高等学校	2年	大崎 瞭
岡豊高等学校	2年	戸梶 綸乃
春野高等学校	3年	西川 朋華
土佐塾高等学校	1年	広川 昌暉

G グループ テーマ / アフターコロナの世界とどう向き合うか

土佐女子高等学校	2年	山下 時奈
土佐女子高等学校	2年	鍋島 咲良
土佐女子高等学校	2年	島田 夏夕
高知工業高等学校	2年	小松 尚隆
高知工業高等学校	2年	久保 明央人
高知小津高等学校	2年	岡田 楓華
高知西高等学校	1年	浅井 萌菜

H グループ テーマ / アフターコロナの世界とどう向き合うか

土佐女子高等学校	2年	深田 萌花
土佐女子高等学校	2年	片岡 真生
土佐女子高等学校	2年	藤井 真帆
高知工業高等学校	2年	松浦 晏也
高知工業高等学校	2年	横川 武典
春野高等学校	3年	浜口 結羽
高知北高等学校	2年	廣内 誠

講師・専門家・ファシリテーター

講師・専門家 株式会社バンクチュアル	守時 健・しんじょう君
専門家 香美しぜん学校	矢田 幸嗣
ファシリテーター(高知大学 人文社会科学部2回生)	加納 楓斗
ファシリテーター(高知工科大学 情報学群4回生)	獅々堀 達哉
ファシリテーター(高知大学 地域協働学部2回生)	磯野 楓
ファシリテーター(高知大学 地域協働学部2回生)	秋山 美羽
ファシリテーター(高知大学 地域協働学部2回生)	山口 彩
ファシリテーター(高知大学 教育学部3回生)	平岡 駿一
ファシリテーター(高知大学大学院1回生)	有吉 愛実
ファシリテーター(高知大学 理工学部3回生)	正岡 丈

司会

高知学芸高等学校	2年	小栗 紀香
高知学芸高等学校	2年	廣末 絢子